

◎お問い合わせ／地区担当委員または農業委員会事務局 (TEL664-1450)

## ◆耕作放棄地調査結果について

農業委員会では平成20年夏から秋にかけて、主に農用地区域内耕作放棄地(遊休農地)調査を行いました。

～耕作放棄地集計表 (面積単位: ha)～

分類								市内農地
緑		黄		赤		合計		
筆	面積	筆	面積	筆	面積	筆	面積	面積
685	33.4	360	13.4	2,648	92.9	3,693	139.7	

- 緑／人力・農業機械等でただちに耕作可能な農地
- 黄／基盤整備を実施して農業利用すべき農地
- 赤／農地に復元して利用することが不可能な土地 (森林化・土砂崩れなど)

## ◆今後の事務について



調査において「赤」判定とした農地については、再度農業委員会において現況確認を行い、農地か非農地かの判定を行います。今後、農用地区以外についても順次調査します。

## ◆非農地通知書について

農業委員会総会において非農地の決定をした場合、農家へ非農地通知書を送付します。この通知書は今までの非農地証明書と同じ扱いとなります。

地目を変更される方は、この通知書を法務局へ持参し、変更手続きをしてください。また、この通知書はとりまとめて法務局、県、市などの機関へ送付します。

なお、将来この土地を農地として利用される場合は、その旨を申し出てください

# 養父市『市民憲章』へのご意見・文案を募集します！

合併5年を迎えた養父市では、心を一つにして心豊かなまちづくりを進めるため、市民共通の思いや願いが込められたまちづくりの目標となる「市民憲章」の制定を目指します。

市民の皆様のアイデアを結集して、新しい時代の養父市のまちづくりにふさわしく、親しみが持て、市民の一体感が醸成されるような「市民憲章」を制定するために、皆様のご意見や文案を募集します。

### 【応募資格】

養父市在住、在勤、在学の方 (年齢は問いません)

### 【応募基準】

- 市民にとって親しみやすく印象深く感じられること。
- 簡潔で分かりやすいこと。
- 音読したときに心地よく耳に入ってくること。

### 【応募方法】

市役所企画政策課に持参、郵送、電子メール、ファックスのいずれかで応募すること。

### 【注意点】

- 応募用紙に市民憲章へのご意見や文案とその説明、意味を記入すること。
- 応募用紙に郵便番号、住所、氏名 (ふりがな)、年齢、性別、電話番号、職業 (学校名) を記載すること。
- 応募は、1人何点でも結構です。

### 【応募期限】

2月16日 (月) 【必着】



### 【その他】

ご応募いただいたご意見や文案をもとに、養父市市民憲章制定委員会において市民憲章の草案を作成します。

### 【応募先】

〒667-8651 養父市八鹿町八鹿 1675 番地

市役所企画政策課

☎ 662-7602 FAX 662-7491

E-mail : kikakuseisaku@city.yabu.hyogo.jp

# まちの話題

## 市内の合唱グループが美声を披露

12月14日、第1回養父市合唱祭（養父市合唱祭実行委員会主催）が八鹿文化会館ホールで開催されました。同合唱祭は、市内の合唱グループが日ごろの活動成果を発表する場として今回初めて企画されたもので、みやびコーラス、ディアコール、まげこちや合唱団、八鹿高等学校音楽部、童謡教室、ドレミほけっと、うたごえロケット、関宮ハーモニー、合唱団セイティブ、大屋女声コーラス、コールはるかぜの11団体275人が出演。会場を訪れた約470人の聴衆を前に、息の合った美しい歌声を披露しました。

## 雪のプレゼントに大はしゃぎ

12月7日と8日、明石市との交流事業「雪のプレゼント」事業を明石市内のシヨップピングセンターと保育所などで行いました。この事業は、八子高原スキー場で造られた人工雪を届け、スキー場などへの誘客と雪を見る機会が少ない明石市民に雪に親しんでもらうことを目的に、養父市、



雪の滑り台に大喜びの子ども達

氷ノ山鉢伏観光協会、商工会青年部が行っているものです。7日には、明石市のシヨップピングセンターに雪が届けられ、多くの親子連れが雪の感触を満喫。初めて雪に触れる子どもも多く、「冷たいけどおもしろい」と大喜びでした。翌8日には、明石市立播陽幼稚園と私立福田保育所に30分の雪を届け、園庭に造られた雪の滑り台に園児たちは大喜びでした。



美しい歌声を披露する出演者

プログラムの中には、全出演団体と来場者が一緒に唱歌「ふるさと」を歌い閉幕しました。実行委員長の田村尚さんは「市内の合唱グループが一堂に集まり有意義な催しになったと思います。来年以降も開催していかうと思っています」と振り返りました。

## 冬山の安全と繁栄を祈願

12月5日、氷ノ山・八子高原・東鉢伏高原一帯の冬山開きが別宮のハイパーボウル東鉢スキー場で行われ、観光関係者ら約50人が出席しました。

はじめに、神事で多くの観光客が訪れることと冬山の安全を祈願。続いてくす玉割りやテープカットで冬山開きを祝いました。

主催者である氷ノ山鉢伏観光協会の一ノ本達己会長は「不況の中で不安もありますが、長期予報では例年並みの降雪が期待できそう。より魅力的なスキー場とするため、今年は氷ノ山国際スキー場とハイパーボウル東鉢スキー場の一部でコース造成も行っています。関係者が協力して、お客様に楽しんでいただくことを第一に、何度も足を運んでもらえるおもてなしをしっかりとしていきます」と話しました。



テープカットとくす玉割りで冬山開きを祝う